

千葉県いすみ市

1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村、漁村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	策定中
アクセス	□電車の場合：JR東京駅～特急わかしお～JR大原駅(最寄り駅)70分 □車の場合：東京・横浜・東京ディズニーランド～東京湾アクアライン～圏央道市原鶴舞IC～いすみ市90分 □飛行機の場合：羽田空港・成田空港～いすみ市バスで90分		
本地域の概況	□千葉県南東部の太平洋に面したまちで、気候は年間を通じて温暖、豊かな里山と里海を有しています。 □いすみ米、イセエビ、梨などが特産品で、それらを活かした食によるまちづくりに取り組んでいます。 □人口は約3万7千人(令和3年1月1日現在)、若い年代の都市への流出が課題です。 □基幹産業は農業・漁業ですが、担い手は高齢化しており、資源の集約化や経営の多角化に向けた課題も多いです。 □首都圏からのアクセスが良好ながら、豊かな自然環境を有しているため、他拠点居住やテレワークにも適しています。 □資源豊富であり、創業機会にも恵まれていることから、移住して新たなライフスタイルを求める若い年代に注目をされています。		



2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数					②社会教育による受入件数		③自治体連携による交流先
小学校	0校	中学校	3校	高等学校	0校	0件	愛知県一宮市(BtoBから派生)

※③:2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

メニュー1:気分は漁師!大型遊漁船による太平洋クルーズ&豊かな里海環境学習

体験の分類	漁業・自然環境・食・交流・職業観・勤労		
実施概要	器械根と呼ばれる水産資源豊富な岩礁帯の洋上を、大型の遊漁船(釣り船)でクルーズ。揺れが少なく、乗船中は船長と補助員2名の合計3名でサポートするので安心です。		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外(雨天決行)	時期	通年
所要時間	30分	最大受入可能人数(人)	100人
最低価格	2,500円(税込)/1名 20名乗船時		



メニュー2:匠の技を伝授!干物づくりのプロが教えるアジの干物づくり体験

体験の分類	漁業・食・交流・職業観・勤労		
実施概要	大原漁港の水産加工場のプロが教えるアジの開きづくり体験。開いたアジは、ネームプレート添えて乾燥し、後日お届けします。工場ならではの衛生面と安全面が売りです。		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋内	時期	通年
所要時間	30分	最大受入可能人数(人)	80人
最低価格	1,500円(税込)/1名		



メニュー3:漁業を学べる大原漁港施設見学～水揚げ・セリ・製氷場～

体験の分類	農業・漁業・自然環境・食・交流・職業観・勤労		
実施概要	大原漁港の施設見学ツアー、水揚げ・セリ・製氷場について漁協職員がその使い方などを解説。極寒の製氷場内では大きな氷と一緒に記念撮影できます。		
対象学年	小学生低学年・小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋内	時期	通年
所要時間	30分	最大受入可能人数(人)	80人
最低価格	500円(税込)/1名		



その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	夷隅川サップ体験 2h 最大80名 6,200円/1名 サーフィン体験 2h 最大30名 11,000円/1名		
屋内で実施するメニュー	太巻き寿司づくり体験 1h 最大40名 1,500円/1名 貝殻をつかったフォトフレームづくり 1.5h 最大80名 1,000円/1名		
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー			
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	https://isumi-tourism.jp		
モデルプランの紹介サイトのURL	https://isumi-tourism.jp/educational-trip/		

4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

(1)受入対象

教育種別	学校教育	社会教育	学年別	小学生高学年・中学生・高校生
------	------	------	-----	----------------

(2)受入可能な期間

日帰り	要相談	1泊2日	可	2泊3日	可	3泊4日	要相談	4泊5日以上	要相談
-----	-----	------	---	------	---	------	-----	--------	-----

(3)手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	可	ホームステイ先	可	地域内の小学校	要相談	地域内の中学校	要相談
地域内の高等学校	要相談	その他	農林漁業者、地域おこし協力隊、体験指導者、移住者、商工会長、DMO、市長等				

(4)1回当たりの宿泊定員(人)

ホームステイ(受入家庭先への分泊)	本地域のみで受け入れる場合 80人
集団宿泊	民間宿泊施設(ホテル・旅館・民宿等)200人
キャンプ場・コテージ等	0人

(5)安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制(医療機関、消防署、警察、行政等)」の整備	整備済
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	整備済
③「受入関係者向けの安全管理基準(ガイドライン、マニュアル等)」の策定	整備済
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	整備中
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	可
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	可
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	可

5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	一般社団法人ツーリズムいすみ		部署名	
	団体構成	いすみ市商工会 いすみ市 夷隅東部漁業協同組合 大原水産加工業協同組合 教育旅行宿泊部会		
	TEL	0470-64-6787	E-MAIL	info@isumi-tourism.jp
	住所	〒298-0004 千葉県いすみ市大原7400-8		
自治体の担当部署	URL	https://isumi-tourism.jp		
	部署名	水産商工課	E-MAIL	suisan@city.isumi.lg.jp
	TEL	0470-62-1119	URL	www.city.isumi.lg.jp